

令和2年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】社会総がかりで子どもを育む	講習形態	講義・演習
開設者	長崎大学	定員	100名
開設日/時間	令和2年10月31日(土) / 8:55 ~ 16:20 ※8/21変更	会場	WEB配信が受信できる場所。職場もしくは自宅など。
履修認定対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・幼保連携型認定こども園 教諭・養護教諭・栄養教諭
担当教員(講習責任者) / Eメールアドレス/TEL 山崎 幸則 (長崎県教育庁) / Eメールアドレス: kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2872			
担当教員(講習分担者) 椋本 博志 (長崎県教育庁)、西平 耕治 (長崎県教育庁)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 学校・家庭・地域で連携・協働して子どもを育む必要性を社会的背景や法的根拠等で理解し、その具体的方策や実践例について学ぶ。 講習方法: 次期学習指導要領改訂の柱である「地域とともにある学校」や「社会に開かれた教育課程」について、県の事業や県内の実践例をもとに講義や演習などを行う。 講習到達目標: ・社会総がかりで子どもを育むことについて、実践する意欲をもち、具体的方策を理解する。 ・学校支援会議(学校運営協議会)やPTA活動等について、演習等の活動をし、実践への理解を深める。			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要) 近年、子どもに関わる問題が多様化・複雑化し、家庭や地域の教育力の低下やふるさと教育の必要性が指摘されている等、幼稚園・保育所・認定こども園や学校は様々な教育課題に直面している。そのような中、これからの子どもによりよい成長には、学校と家庭、地域が目標を共有しながら、立場や世代を超えてつながり、社会総がかりで子どもを育む体制を構築することは不可欠である。本講習では、県の施策や県内各地の先進事例を踏まえ、それぞれの教育の場でいかに取り組んでいくかについて考え、実践力を高める。 講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:15~9:20	椋本 博志
	講義1【学校・家庭・地域の連携・協働の理解と実践】(小休憩15分含む) 筆記試験【50分】	9:20~12:35	椋本 博志
	昼休憩【50分】	12:35~13:25	
	講義2【学校支援会議(学校運営協議会)やPTA活動、子どもの読書活動について】(小休憩15分含む) 筆記試験【30分】	13:25~16:40	山崎 幸則 西平 耕治
キーワード (例:読書活動) (地域学校協働活動) (社会に開かれた教育課程) (コミュニティ・スクール)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書なし。		
各自で準備するもの	特になし。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		